

平成 30 年 7 月 2 日

国際観光専門学校名古屋校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

国際観光専門学校名古屋校

校長 田中 修

学校法人高村育英会 国際観光専門学校名古屋校 学校関係者評価委員会は平成 29 年度自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しましたので、以下の通り報告致します。

1. 開催日時 : 平成 30 年 6 月 5 日 (火) 13 : 30~15 : 30
2. 開催場所 : 国際観光専門学校名古屋校
3. 出席者<五十音順・敬称略>

・学校関係者評価委員

河辺 敬太郎 (卒業生)

(ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 宿泊部ゲストリレーション課 支配人)

小林 修一郎 (株式会社ツーリストエキスパート 中部営業部 部長)

永田 太 (株式会社ホテルグランコート名古屋 人材開発担当部長)

樋口 偉久 (株式会社名古屋観光ホテル 取締役 管理本部長)

平田 清浩 (株式会社栄美通信 名古屋支社 支社長)

学校事務局

谷口 久光 (学校法人高村育英会 常務理事)

田中 修 (国際観光専門学校名古屋校 校長)

松浦 久年 (国際観光専門学校名古屋校 教務課課長)

西村 明啓 (国際観光専門学校名古屋校 就職課課長代理)

細江 啓介 (国際観光専門学校名古屋校 広報課主任)

4. 評価項目ごとの学校関係者評価・意見

(1) 教育理念・目標

評価・意見

- ・ 今後は大学との差別化を図るには、校舎の改修が必須ではないか。

また留学生が増えていくと交流の場のスペースも必要になってくる。

- ・教育理念・目標が「周知されている」のであれば大丈夫ではないか。

7か国の生徒がいるのであれば、7か国語の言語にて作成し、生徒に渡せば教育理念が周知できるのではないか。

- ・ホームページも5か国語ぐらいで書いてあれば大丈夫かと。他の学校のホームページも多言語されてきている。最低これぐらいないと「周知されている」とは言えないのではないか。

(2) 学校運営

評価・意見

- ・特記事項なし。

(3) 教育活動

評価・意見

- ・「関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか」について、改善の方向で進んでいるので適切が妥当と考える。

(4) 学修成果

評価・意見

- ・教育活動の「授業評価の実施・評価体制はあるか」、「職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか」の点について、評価が良ければ退学者は減っていくのではないか。満足度やモチベーションを上げていく更なる努力をしていく必要があるのではないか。
- ・退学者の理由をそれぞれ分析したほうが良い。

(5) 学生支援

評価・意見

- ・特記事項なし

(6) 教育環境

評価・意見

- ・特記事項なし

(7) 学生の受入れ募集

評価・意見

・各評価項目についての自己点検・評価結果は妥当と考える。

(8) 財務

評価・意見

・特記事項なし

(9) 法令等の遵守

評価・意見

・「個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか」は自己点検・評価が適切になるようにしていただきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価・意見

・特記事項なし

(11) 国際交流（必要に応じて）

評価・意見

・各評価項目についての自己点検・評価結果は妥当と考える。

5. 学校としての総括

・自己点検・評価については、概ね妥当な評価結果となっており、適切との判断をいただいた。

・邦人、留学生が観光業界で活躍するための人材育成や、学生支援など評価を上げるように、取り組んでいきたい。